

春夏にんじんのしみ腐病の防除

～しみ腐病の農薬による防除方法の検証～

1 活動のねらい

春夏にんじんのしみ腐病対策として、にんじんのしみ腐病に登録のあるアミスターオブティーフロアブルの使用方法を検証しました。

この薬剤は使用回数が2回と限られているため、2月中旬以降、トンネルの開孔率0.5%で換気始めに1回、その後に1回の2回散布する試験区と、初期1回のみでの対照区を比較しました。検証結果を踏まえ、効果的な防除方法を提案することをねらいとしました。

2 課題の背景

千葉市幕張地区は、昭和30年代から春夏にんじん栽培がされている歴史ある産地ですが、ここ20年来、にんじんのしみ症の被害に悩まされています。これまで、土壌消毒などの対策に取り組んでいましたが、有効な防除ができていません。

3 普及活動の経過・結果

J A千葉みらいと連携し、千葉市幕張地区に農薬展示ほを設け、表1のとおり試験区を設定しました。また、収穫期に各区40本を掘取り、被害状況を調査・比較しました。

(1) 耕種概要

- ア 品種 FSC-015
- イ は種 令和4年1月27日 株間10cm、畝間17cm、7条
無マルチ栽培、通路幅60cm
- ウ 施肥 高度化成(10-18-16) 80kg/10a
- エ トンネル除去 令和4年4月21日
- オ 収穫開始 令和4年6月8日(は種後133日)
- カ 薬剤散布履歴

表1 農薬展示ほの概要 (散布量は10a当り)

処理日	試験区(2回散布)	対照区(1回散布)
1月27日	ランダイヤ粒剤6kg	
3月26日	アミスターオブティーフロアブル1000倍、100ℓ ベネビアOD2000倍、100ℓ	
4月22日	アミスターオブティーフロアブル 1000倍、100ℓ ベネビアOD 2000倍、100ℓ	無
5月3日	無	コテツフロアブル 2000倍、100ℓ ベルコートフロアブル 1000倍、100ℓ

(2) 調査結果と考察

各40本を調査した結果は、表2のとおりで、試験区はしみ症が6本で被害割合は15%、対照区ではしみ症が18本で被害割合は45%でした。

試験区の被害割合の方が低く、2回目の薬剤散布に効果があることが確認できました。

この結果を令和4年10月7日の習志野・幕張合同の春夏にんじん栽培講習会で、発表したところ、次年度は、多少の農薬費はかかるが実施してみたいという感想が多くありました。

表2 病害虫被害本数と被害割合 調査日 令和4年6月3日(40本調査)

区	試験区(2回散布)	対照区(1回散布)
しみ症の被害本数	しみ症6本	しみ症18本
被害割合(%)	しみ症15%	しみ症45%



写真1 試験区(2回散布)



写真2 対照区(1回散布)

4 今後の課題

3月26日の防除は、トンネル除去をしない換気口からの散布するため、かけむらがあると思われるので、均一に散布する方法を検討する必要があります。

アミスターオブティーフロアブルは使用回数が2回で、収穫前21日前までに散布する必要があるため、高い効果を得るには、防除時期が重要となります。

今後は、散布時期や散布量の違いによる効果について、関係機関や生産者とさらに取組み、より効果の高い防除方法を検証していきます。

5 担当者 千葉・習志野グループ 清宮 斉

6 協力機関 千葉市農政センター、JA千葉みらい西部営農センター